

みね教室だより 令和5年11月号

2学期が始まり、1か月となりました。

朝晩涼しくなってきましたので、体調を崩されませんよう、ときには一息つきながら過ごしていけたらと思います。

これからも、お子さんのペースを大切に、楽しく活動していきたいと思ひます。

11月の予定

	日	月	火	水	木	金	土
	10/29	30	31	11/1	2	3	4
教室1						文化の日	
教室2					出張 1日指導なし		
	5	6	7	8	9	10	11
教室1			学校行事 午後指導なし				
教室2			学校行事 午後指導なし				
	12	13	14	15	16	17	18
教室1			出張 午後指導なし	午前中なし		出張 1日指導なし	
教室2			出張 午後指導なし	午前中なし			
	19	20	21	22	23	24	25
教室1				研修 午後なし	勤労感謝の日		
教室2				研修 午後なし			
	26	27	28	29	30	12/1	2
教室1							
教室2							

◎毎週決まった曜日、時間帯に指導を行います。欠席の際はご連絡ください。

また、峰小の行事や出張等で指導が休みになる場合がありますので、ご確認ください。



みね教室直通 634—2236

峰小 職員室 633—3973

教室直通の電話は、在室する限り担当が出ますのでご心配なくおかけください。

ただ、指導中は出られないこともありますのでご了承ください。

「絵本の読み合い遊び」～研修会の内容から～

今回は、先日参加した研修会にて、宇都宮大学教授 石川 由美子先生からお話をお伺いしました「絵本の読み合い遊び」について、その一部をご紹介します。

「読み聞かせ」という言葉は、よく耳にし、実際に学校でも行われています。

親子での絵本の「読み聞かせ」の効果として、愛着関係の育ち、情動や感性の育ち、情動の調整、そして言語発達などがあります。

読み聞かせは、以上のようによい面がありますが、どうしても読み手から聴き手へという枠組みの縛りが強く、聴き手は静かに読み手の話を聞いていなければならないことが多いですよね。

それに対し、読み合いでは、読み手から聴き手という枠組みはあるものの、枠組みの縛りが緩やか、つまり、読み手と聴き手が相互に作用し合うことができるものだそうです。

絵本の読み合い遊びが、言語理解や概念理解の発達によい影響を与えるというお話でした。

研修会では、「びっくりはなび」や「かいてかいて」などの本を紹介していただきました。「びっくりはなび」では、聴き手が「たまや～」という合いの手を入れたり、「かいてかいて」では、読み手が「〇〇かいて」と言い、聴き手がその絵を描いたりするような内容でした。どちらも読み手と聴き手のやりとりが面白かったです。

また、絵本の内容を実際の活動に生かした授業についても教えていただきましたが、活動の最初と最後に本を読み合ったり、工作や遊びに結び付けた様々な活動を行ったりと、幼児向けではありましたが大人でも楽しくなるような内容でした。

ご家庭で、「読み聞かせ」をされていらっしゃる保護者の皆様も多いことと思いますが、さらにお子様とのやりとりの機会を増やして「読み合い遊び」を楽しまれてみてはいかがでしょうか。



保護者面談では大変お世話になりました

お忙しい中、ありがとうございました。

ご家庭やみね教室での様子を中心に、それぞれのお子さんの頑張っていることや課題などについて改めて確認させていただくことができました。

今後の指導の参考にさせていただきたいと思います。

面談日以外でも、ご心配なこと、気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

